

2016年8月10日

テレビの前に置いて簡単に迫力あるサウンドを実現する、スタイリッシュなサウンドバー ヤマハ フロントサラウンドシステム 『YAS-106』

ヤマハ株式会社は、サラウンドシステム「YASシリーズ」の新製品として、テレビの前に手軽に置けるスリムなワンバーボディで、インテリアにもマッチするスタイリッシュなデザインのフロントサラウンドシステム『YAS-106』を、9月上旬より全国で発売いたします。

<価格と発売時期>

品名	モデル名	色	希望小売価格	当初月産予定台数	発売時期
フロントサラウンドシステム	YAS-106	(B)ブラック	オープン価格	10,000台	9月上旬

<製品の概要>

今回発売する『YAS-106』は、スリムなワンバーボディで薄型テレビの前に手軽に置いて、テレビ番組・映画・音楽などを迫力ある音質で再生できるフロントサラウンドシステムです。4K/60p^{*1}映像伝送やHDR映像伝送、HDCP2.2^{*2}に対応したHDMI端子を装備し、バーチャルサラウンドによる臨場感あふれるサウンドを実現します。また、Bluetooth[®]にも対応し、スマートフォンやタブレットなどのモバイル端末から音楽コンテンツのワイヤレス再生や、専用アプリを使用した快適な本体操作等が可能です。薄型テレビやインテリアにマッチするスタイリッシュなデザインと設置性に優れた本体サイズを採用し、簡単にテレビの音声をサラウンドで楽しめます。

*1 4K(4,096×2,160画素)の解像度を持つ映像を、1秒間に60コマで表示すること。

*2 4K映像伝送に対応した最新のデジタル著作権保護技術。



【YAS-106 主な特長】

1. スリムなワンバーボディで手軽にテレビの前に置くだけで迫力ある音声を楽しむことができ、4K映像対応のHDMI端子も搭載
2. 低音再生技術「バスエクステンション」と、バーチャルサラウンドによる豊かな音場を実現
3. Bluetooth[®]に対応し、スマートフォンなどから専用アプリによる再生・操作等が可能

＜YAS-106 主な特長＞

1. スリムなワンバーボディで手軽にテレビの前に置くだけで迫力ある音声を楽しむことができ、4K 映像対応の HDMI 端子も搭載

スタンドが低い薄型テレビの前に置いても、画面を遮ることなく視聴できる、高さ 53mm のスリムなワンバーボディを実現しています。スタイリッシュなデザインでテレビやインテリアにもマッチし、ボディを薄くしたことで壁掛けでもすっきりと設置できます。また、次世代の 4K 映像規格である HDR 映像や 4K/60p 映像信号の伝送(パススルー)、HDCP2.2 に対応した 1 入力/1 出力の HDMI 端子を装備し、HDMI ケーブル 1 本でテレビ音声を伝送できるオーディオリターンチャンネル (ARC) *1 にも対応しています。さらに、HDMI 接続中の対応テレビ・レコーダーと連動して、本機の電源オン/オフ・音量調整・入力切替などが可能な HDMI コントロール機能(リンク機能) *2 も搭載しています。その他に、人の声と背景音を判別して人の声を強調し、セリフやナレーションを格段に聴き取りやすくする「クリアボイス」を搭載するなど、簡単にテレビの音声を臨場感あふれるサラウンドで楽しむことができます。

*1 オーディオリターンチャンネル (ARC) 対応テレビが必要です。

*2 対応機種などの詳細は、当社製品サイト

(http://jp.yamaha.com/products/audio-visual/connect/hdmi_cec/)でご確認ください。



テレビの前にすっきり置ける高さ53mmのスリムボディ



4K Ultra HD
Pass-Through

HDCP2.2

2. 低音再生技術「バスエクステンション」と、バーチャルサラウンドによる豊かな音場を実現

真円形で優れた音質を実現する 5.5cm ミッドレンジウーファーのメイン(フロント)L/R スピーカー、7.5cm 口径の内蔵サブウーファー、2.5cm ツイーターによる 3 ユニット構成を採用しています。実用最大出力計 120W (非同時駆動)のハイパワーアンプを内蔵するとともに、高効率のバスレフポートも装備し、スリムなワンバーボディでありながらクリアで迫力のある高音質サラウンドを実現しています。また、不足しがちな低音を増強する機能「バスエクステンション」による、豊かでパワフルな重低音再生が可能です。さらに、5.1ch バーチャルサラウンド技術により、前方だけでなく左右や後方にもスピーカーを設置しているかのような、広がりや定位感に優れたサラウンド音場を再現します。



優れたサラウンド音場を再現するスピーカーユニット

3. Bluetooth®に対応し、スマートフォンなどから専用アプリによる再生・操作等が可能

本機は Bluetooth®にも対応し、スマートフォンやタブレットなどの Bluetooth®対応機器内の音楽コンテンツを、手軽にワイヤレス操作で再生可能です。独自の音質改善技術「ミュージック・エンハンサー」により、スマートフォンなどからの圧縮音源を高音質で聴けるとともに、高音質音声コーデック AAC・SBC を搭載し、iPhone 等の音声をクリアな音で楽しめます。また、Bluetooth®対応端末と電源の連動ができる「Bluetooth®スタンバイモード*4」を使えば、スマートフォンなどの端末側から Bluetooth®接続すると本機の電源がオンになり、電源操作の手間が省けます。さらに、専用アプリ「HOME THEATER CONTROLLER*5」をお手持ちのモバイル端末にインストールすれば、本機をさらに快適に操作することも可能です。音量調整や入力切替などのリモコン操作をはじめ、専用アプリからの操作時のみ利用できる5つのサラウンドプログラム(テレビ番組・映画・音楽・スポーツ・ゲーム)の切り替えなども、画面上から行えます。また、ホーム画面では、入力中の機器や選択中のサラウンドプログラムなどがアイコンで分かりやすく表示され、本機の状態を一目で把握できます。

*4 工場出荷時、「Bluetooth®スタンバイモード」はオフに設定されています。

*5 iOS 版は App Store から、Android 版は Google Play から無償ダウンロードして、ご利用いただけます。



Bluetooth®接続でワイヤレス再生が可能



専用アプリケーション「HOME THEATER CONTROLLER」
(スマートフォン版)の操作画面例



「YAS-106」設置イメージ

<YAS-106 主な仕様>

アンプ部	実用最大出力 (非同時駆動、JEITA)		メイン(フロント)L/R 30W×2
			サブウーファー 60W
メイン(フロント)L/R部	型式		密閉型
	ユニット	フルレンジ	5.5cm コーン非防磁型×2
ツイーター部	ユニット		2.5cm ドーム防磁型×2
サブウーファー部	型式		バスレフ型
	ユニット		7.5cm コーン非防磁型×2
入力端子	HDMI		1 系統(4K リピート、HDCP2.2 に対応)
	音声		2 系統(光デジタル 1、3.5mm ステレオミニ 1)
出力端子	HDMI		1 系統(HDCP2.2、ARC に対応)
	音声		1 系統(サブウーファー出力 1)
Bluetooth(受信のみ)	バージョン		Ver.2.1+EDR
	対応プロファイル		A2DP、DID、SPP
	対応コーデック		SBC、MPEG4 AAC
	無線出力		Bluetooth Class2
	最大通信距離		10m(障害物が無いこと)
	対応コンテンツ保護		SCMS-T 方式
消費電力			27W
待機消費電力			0.2W(HDMI コントロールオフ・Bluetooth®スタンバイオフ時)、 1.8W(HDMI コントロールオン・Bluetooth®スタンバイオフ時)、 0.2W(HDMI コントロールオフ・Bluetooth®スタンバイオン時)
外形寸法(幅×高さ×奥行)			890W×53H×131Dmm(テレビ前置き設置時)、 890W×131H×62Dmm(壁掛け設置時 スペーサー含む)
質量			3.2kg
付属品			リモコン(リチウムボタン電池セット済み)、電源コード、光ケーブル(1.5m)1本、 取付用テンプレート、スペーサー2個、取扱説明書

<YAS-106 主な機能>

デコーダー機能	PCM(5.1ch まで)、ドルビーデジタル、ドルビープロロジックII、DTS、MPEG2 AAC(5.1ch まで)
視聴モード	ステレオモード/サラウンドモード
サラウンドモード	1(映画モード相当)、4*(テレビ番組/音楽/スポーツ/ゲーム)
その他の機能	バスエクステンション、ミュージック・エンハンサー(Bluetooth®受信時)、クリアボイス、自動スタンバイ機能、 副音声切替(モノラル音声多重信号入力時)

*専用アプリケーション「HOME THEATER CONTROLLER」使用時のみ選択が可能です。



ヤマハ フロントサラウンドシステム 『YAS-106』

オープン価格

【製品情報】

ヤマハ フロントサラウンドシステム 『YAS-106』

http://jp.yamaha.com/products/audio-visual/hometheater-systems/hometheater-packages/yas-106_black_j/

※YAS-106 の画像データは下記ウェブサイトよりダウンロードできます。

https://www.yamaha.com/ja/news_release/

この件に関するお問い合わせ先

ヤマハ株式会社

■報道関係の方のお問い合わせ先

広報部 宣伝・ブランドマネジメントグループ

窪井、千葉

〒108-8568 東京都港区高輪 2-17-11

TEL 03-5488-6605

FAX 03-5488-5063

ウェブサイト https://www.yamaha.com/ja/news_release/

(取材申し込みや広報資料請求が可能です。)

■一般の方のお問い合わせ先

株式会社ヤマハミュージックジャパン カスタマーサポート部

お客様コミュニケーションセンター

オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町 10-1

TEL 0570-011-808 (ナビダイヤル:全国どこからでも市内通話料金)

TEL 053-460-3409 (上記番号でつながらない場合)